

2026年4月17日  
安平町  
株式会社あびらエナジー

「地域に求められる太陽光発電」の新機軸 安平町とあびらエナジー、北海道銀行のグリーンローン実行により、あびら再生可能エネルギー地産地消モデルを始動

北海道安平町および地域エネルギー会社「株式会社あびらエナジー」は、2030年までの公共施設再エネ100%実現を目指す「あびら再生可能エネルギー地産地消モデル」事業を開始いたしましたことをごお知らせいたします。本事業は、環境省「重点対策加速化事業」の採択を受け、公共施設の電力を100%地産地消の再生可能エネルギー化することを目指し、レジリエンス強化とエネルギー代金の域内循環を同時に実現する先駆的な取り組みとなります。

現在、北海道内では大規模な太陽光開発に伴う自然環境や景観への影響から、再エネ導入に対して厳しい視線が注がれている状況にありますが、本事業が目指すのは、売電のみを目的とした開発ではなく、町民の生活基盤を守るための「地域インフラとしての太陽光発電」です。

安平町は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「安平町ゼロカーボンシティ宣言」を2024年1月に表明しました。本計画では、町内16の公共施設を含む計24箇所に、合計出力約5.7MWの太陽光発電と1,7MWhの蓄電池を設置します。この事業主体となる「株式会社あびらエナジー」は、「安平町ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結しているエイコーエナジオ株式会社を中心に、株式会社あびらエナジーを設立し、後に安平町も出資をし事業の透明性も確保されています。

また、北海道銀行の「グリーンローン」は、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。資金使途がグリーンプロジェクトの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートニングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しており、持続可能な地産地消モデルを支えます。

#### 【添付資料】

資料1：安平町ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて

資料2：『あびら再生可能エネルギー地産地消モデル』安平町重点対策加速化事業に関するご説明資料

以上

(お問い合わせ)

安平町税務住民課ゼロカーボン推進G

TEL：0145-22-2940

株式会社あびらエナジー 担当：北野

TEL：090-6385-5557